

# あきんど

Yoshikawa City Society Commerce and Industry

商工会の目的は企業の繁栄と地域の発展です。  
ご活用下さい。あなたの街の商工会  
<https://www.namazu.or.jp/>

## 商工会からのお知らせ

### 法改正情報

#### 【インボイス制度の導入】

令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。  
適格請求書発行者（登録事業者）のみが適格請求書（インボイス）を交付することができません。  
年間売上が1000万円未満の事業者でも、得意先との取引において課税事業者を選択する必要がある場合があります。

※課税事業者が発行する請求書でないと、得意先は仕入税額控除が出来なくなります。詳しくは国税庁の特設サイトを「ご確認ください」。

**国税庁特設サイト**

超重要になるって聞いたからちゃんと調べないとな。

### 各種ご案内

#### 【経営相談窓口開設のお知らせ】

商工会では新型コロナウイルス感染症等による影響や、インボイス制度の導入、最低賃金引上げ等、今後の環境の変化にどのように対応していけばよいかお悩みの事業者の皆様をサポートするため、中小企業診断士による「経営相談窓口」を開設いたします。  
相談をご希望の方は商工会までお問合せください。

日時：毎週火曜日  
午後1時～午後5時  
（相談時間は原則1事業所1時間）  
場所：吉川市商工会館会議室  
費用：無料

詳しくはこちら

#### 【商品券取扱店募集中！】

商工会では、市の委託を受け、子ども未来応援商品券「くらしサポート商品券」事業を実施します。この商品券は、エネルギー・食料品価格等物価高騰の影響が及んでいる中、子育て支援、生活支援を図る目的で対象者に配布されるものです。  
発行総額は約6千万円、令和5年9月1日～令和6年2月10日の期間で実

施工予定です。  
ただいま、商品券取扱店を募集中です。

### 吉川市商工会

#### 【タオル提供のお願いについて】

女性部では社会福祉活動の一環として、市内にある福祉施設にタオルの寄付（使用済みタオルを含む※注：洗濯したもの）を事業として行っております。  
そこで、会員の皆様のご家庭、事業所でご不要のタオルがございましたら、寄付のご協力をお願いいたします。

商工会に回収専用のボックスをご用意しております。商工会に来られる用事があるときでも、お持ちいただけましたら大変助かります。（のしがついたまま、袋に入らしたままの状態で大丈夫です）何卒、ご協力をお願いいたします。

#### 【事務局新入職員紹介】

令和5年4月より、吉川市商工会で世話になっております。佐藤と申します。前職は三郷市商工会にて8年ほど支援員として勤務しておりました。  
吉川市商工会で運営管理に関して勉強させていただきながら職員の皆さんと協力し、事業者の方の様々な相談に対応していきたいと思っております。  
今後とも何卒よろしくお願い致します。



## ジャズナイト対談 互賢一前実行委員長 × 中里哲也実行委員長



令和5年9月9日、青年部主催によるジャズナイトが今年も開催されます。そこで、中里哲也実行委員長と互賢一前実行委員長にお話を伺いました。

#### Q. 今年度開催の概要を教えてください

中里 今年のテーマは「Let's Enjoy Jazz」として、とにかく楽しめるイベントにしたいですね。昨年と比べ開催時間を長くしアルコールの提供もありです。子ども達も楽しめる様に縁日等もやる予定です。来場者や青年部員、関係する全ての人がジャズナイト本来の楽しさを味わってほしいです。

互 Q. 昨年度開催を振り返ってどうでしたか  
昨年は開催自体できるのかという不安

安でいっぱいでした。関係各所との調整にも時間が掛かり、焦りもあつた事をよく覚えてますね。また、コロナ禍でジャズナイトどころではない部員もたくさんいたと思います。そんな中でも、部員の皆が協力してくれ、無事に開催することができ、なんとかバトンを繋ぐことができたと思っています。今年は制限がなくなりフルスペックでのジャズナイトスタートを全力で、中里実行委員長のもと、盛り上げていきます。

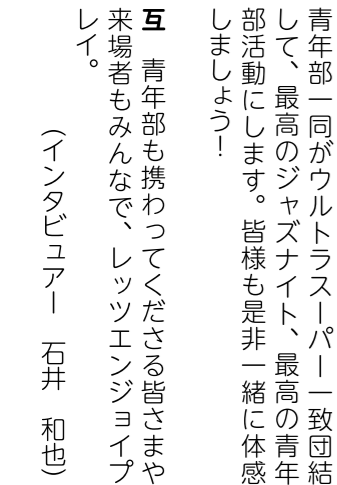
#### Q. 準備のほうは順調に進んでいますか

中里 開催に向けて青年部員一同が必死に準備をしている最中です。その中で市内事業者様等から頂く協賛金は本当にありがたく、感謝しております。ジャズナイトの立ち上げは今から10年も前の事になり、私は当初の立ち上げ時から携わっています。当時は周囲から何を勝手にという雰囲気があったと記憶しています（笑）それが今では、市内事業者様や市民の方々から声を掛けていただく事も多くなり、ジャズナイトという事業が広く受け入れていただけていると実感しております。本当に嬉しく思うと同時に、市内の皆様への感謝を忘れずに進めていきたいと思っております。



#### Q. ジャズナイトの反響はいかがですか

互 他市の商工会さんと交流があった際、吉川ですと言つくと、吉川といえばジャズナイトですよという反応が必ず返ってきます。それだけジャズナイトがこの十年で吉川市を越えて近隣地域に浸透してくれたのだと感じていますし、それだけ多くの方を巻き込み開催出来ていると感じています。私自身の中でも、このジャズナイトがきっかけとなり知り合えた企業や市民の方々や行政との繋がりは大きく、私の事業のみならず地域活動においても大きな変化がありました。少し話がそれますが、私に限らずジャズナイトに携わったすべての部員に成長があったと思います。ぜひ、商工会青年部に入部資格のある方は、一歩踏み出してみてください、我々と共にジャズナイトを楽しみながら様々な繋がりを持ってもらえたら嬉しいです。



#### Q. 最後に読者の皆様へ一言お願いします

中里 私は実行委員長であるのと同時に、今年が青年部員として活動できるラストイヤーとなっております。同じくラストイヤーの副実行委員長の二人を筆頭に、青年部一同がウルトラスパー一致団結して、最高のジャズナイト、最高の青年部活動にします。皆様も是非一緒に体感しましょう！  
互 青年部も携わってくださる皆さまや来場者もみんなで、レッツエンジョイプレイ。  
（インタビュー 石井 和也）

## あきがき

あきんど第6号をお届けします。我々「あきんど」は、常に時代の流れに敏感にアンテナを張り、刺激や気づきをもらおう。これがとても大事だと思います。斬新なアイデアや卓越した行動力で突き進む「あきんど」に出会う。そして刺激をいただく。それを自分のモチベーションにする。時にはライバル心を燃やす。  
「あ〜なるほど、うちの会社だったら新しくこうすればいいぞー」アイデアがひらめく。「なにこそ〜それなら俺だっただけでできるー」などなど。  
この商工会報「あきんど」の取材を通じて、多種多様な業種の方のお話をお聞きします。私も多くの刺激をいただいております。吉川で頑張っている多くの「あきんど」に向けて、そんな情報をお伝えできたらと思っております。  
今年は商工まつりもいよいよ復活します。コロナから3年。ようやく経済も日常を取り戻しつつあります。しかし、今度は、電気代、ガソリン代、人件費、各種原料の高騰と、またまた大きな課題に直面しております。こんなときこそ、吉川市商工会の絆を深め、いつも前を向いて明るく元気に参りましょう。  
今後ともよろしくお願いたします。  
（増田 泰彦）



# 会員紹介



今回は吉川市高久にある「リラグゼーションサロン陽茉莉」の玉木絵莉子さんを訪問しました。

「玉木さんがセラピストを志したきっかけは何ですか？」  
 玉木絵莉子さん（以下、玉木）：以前の仕事と子育ての中で体調を崩す事が増え、同じく子育てをしているお母さん達を癒せる仕事がしたいと思いました。

「オーガニックにこだわるようになったきっかけは何ですか？」  
 玉木：子育て中に体調を崩す事が多く、食事に気を付ける様になりました。食事療法に興味を持ち勉強を始め、体調の安定やストレスの軽減を身をもって体験しました。オーガニックや植

## お母さん達の癒しになれるように リラグゼーションサロン 陽茉莉

物にも興味を持ち始め、植物を使った化粧品にこだわるようになりまし。壁に並んでいる化粧品は全て国産です。

「様々なオーガニック化粧品が並んでいるので、こだわりが伝わります。お店ではどのようなメニューがありますか？」  
 玉木：体とお顔のトリートメントやマッサージ、オイルでリンパを流していく施術になります。時間は60分・70分・90分の時間設定となっております。初回のお客様は20%オフでご案内しています。リピーター特典も用意しています。リピーター特典があるのは嬉しいですね。どのように予約をするのですか？」  
 玉木：公式LINEがあるので、そちらから予約をお願いしています。LINEでポイント発行もしています。

「起業したきっかけを教えてください。」  
 玉木：私自身、会社員になるのが当たり前だと思って育ってきたので、起業する考えた事もありませんでした。ですが、私が色々経験をし、失敗もしていく事で、子ども達にも「様々な生き方があるんだよ」という事を伝える事が出来れば良いなと思って思いました。

「子ども達の事を思い遣る素敵なお母さんだと思います。」  
 ラグゼーションサロン陽茉莉

**リラグゼーションサロン 陽茉莉**

オーナー 玉木 絵莉子

吉川市高久 1-29-21

080-9578-8056

<https://himari-organic.com/>

「の前の由来は？」  
 玉木：私と子ども2人の名前から1文字ずつ取りました。旦那さんから「俺の名前は？」とツッコみられました。笑

過去の経験を活かし、お母さん達を少しでも癒し、そして寄り添いたい。そんな玉木さんのセラピスト魂を強く感じました。大変貴重なお話をありがとうございました。

(首藤 英樹)



# 総代会開催

令和5年5月25日、吉川市商工会館において令和5年度吉川市商工会常総代会が開催されました。



昨年までは新型コロナ感染拡大防止のため規模を縮小しての開催でしたが、第5類へ移行され初めてとなる今年度は、制限なく開催することができました。

総代、理事、一般の商工会員等多数の出席者と、中原恵人吉川市長や松澤正崎玉川市長議員をはじめとする多くのご来賓の皆様にご臨席いただきました。

上程された第1号議案から第6号議案までの議案が無事可決承認されました。



総代会終了後には靴家さんへ場所を移し、3年ぶりとなる懇親会も多くのご来賓や参加者の集まる中盛大に開催されました。

コロナ禍により制限されていた様々な活動が第5類への移行を機に制限が緩和され、懇親会も開催できるようになり、情報交換や名刺交換等の積極的なコミュニケーションを久しぶりに取ることのできた懇親会となりました。

# 吉川橋今昔②

吉川橋がいつれ解体されることになっていたと知った時は本当に驚いた。たぶんほとんどの吉川市民も知らなかったと思う。ある日、所用で当時の上田埼玉県知事が吉川を訪れた時、元県議の蓮見さんが知事に吉川橋の現状を見てほしいと願いだした。知事は老朽化した橋を見て、その交通量を見て、この橋は吉川市民にとってなくてはならないものだと思い、その後も何回か視察に訪れ橋の再架橋を決定した。しかし、橋を架けるという大事業が簡単に始まるものではなかった。自治会への説明会、用地買収の決定と動いていったが、そこからはなかなか進まなかった。

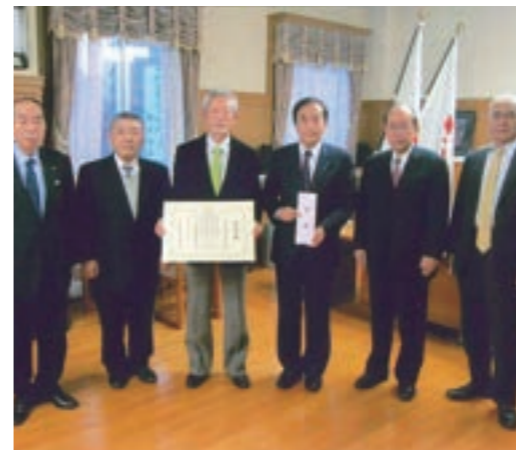
私はそのころ、幼馴染で近所の先輩の小林政夫さんと何度も話し合いをしていた。小林さんは言った。

「橋の架け替えという大事業に際し、いまここに住んでいる我々が何もなくていいの。その結果、ここにつまらない橋が架かったとしたら、後世の人たちに申し訳が立たないだろう」と。

私だって4代目となる吉川橋が普通の橋になつては困るとずっと考えていたのだ。動き始めた。近隣自治会長に声をかけ、埼玉県知事あて要望書を提出、吉川市議会あて請願書を提出した。

できるだけ早く橋の架け替えをやってほしいし、4代目吉川橋にふさわしい外観を持った橋にしてほしいと要望したものだ。そして市民の声を知事に届けようと市民の署名と寄付金を集めて知事に直接届けようということになった。書面を作り、各自治会へと走り回った。

寄付金の目標は3000人から5000円ずつ合計150万円だ。目標が定まる



とやる気が出たが、現実は厳しい。どこへ行っても「なんで県のやることに俺たちが金出すの？おかしいんじゃないの」というのが普通で、5、600人が集まってくれても賛同者ゼロという事もよくあった。それでも協力してくれる自治会長さんもたくさんいて、何とか150万円が集まり、知事のもとへ届けた。

知事は感謝状を用意して大勢の幹部と一緒に待っていてくれたが、そこで知事はこう言った。

「田口さん、この運動は素晴らしいと思うが、もう少し大きな運動にしましょうよ。つきましては寄付金は6000万円くらい集めてください。そうしたら皆さんの言つても聞きましょ」と。

当日は代表5人で知事を訪問していたが、みんな口をあんぐり開けて、「6000万円？」と言ったまま、下を向いていた。さあどうする、どうするんだ。

(田口 政博)

# 理事紹介



理事 永瀬 靖記

工業部会所属の永瀬と申します。商工会という名前はお堅い感じですが、実は事業を営む方へ色々助けとなることを行っています。設備投資や融資の相談、倒産防止共済、経理の帳簿やこれから起業したい人の創業塾など様々なことを行っています。うまく活用してご自身の事業に活かしてください！



理事 佐藤 竜太

樹竜栄商事の佐藤と申します。地元吉川市で育ち、平成13年に運送業を開業いたしました。令和3年度から商工会の理事を務めさせていただいております。原油の高騰や物価上昇などで我々を取り巻く環境はとてつもないですが、吉川市商工会を盛り上げていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願致します。



理事 松澤 鈴子

昭和33年創業、二合半堂まっざわ煎餅の松澤です。主人と2人で菓子製造業を営んでいます。何でも相談できる・商工会は絶対に付き合おうべき組織の一つだと思います。私のモットーは「元気に！明るく！はつらつと！自分に正直に、すべての出会いに感謝し、人との繋がりを大切にすること」です。今後とも宜しくお願いします。